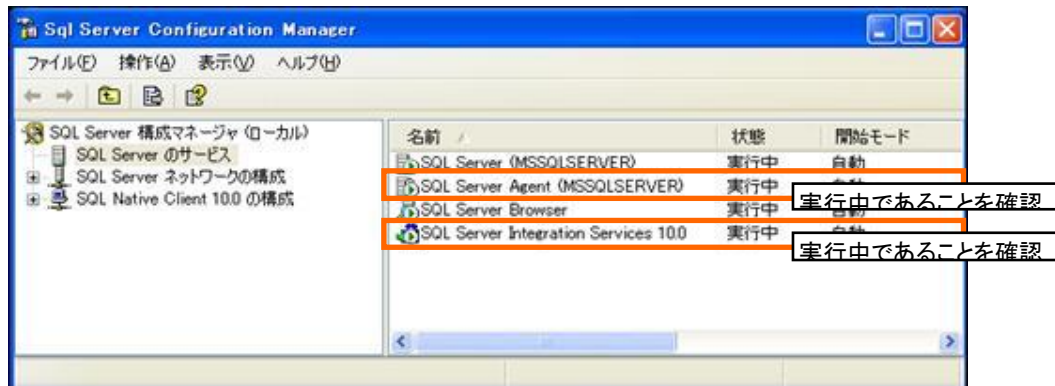


■SQL Server 2008でメンテナンスプランを使ったバックアップ方法

SQL Server 2008でメンテナンスプランを使ったバックアップ方法についてご紹介します。

【準備】

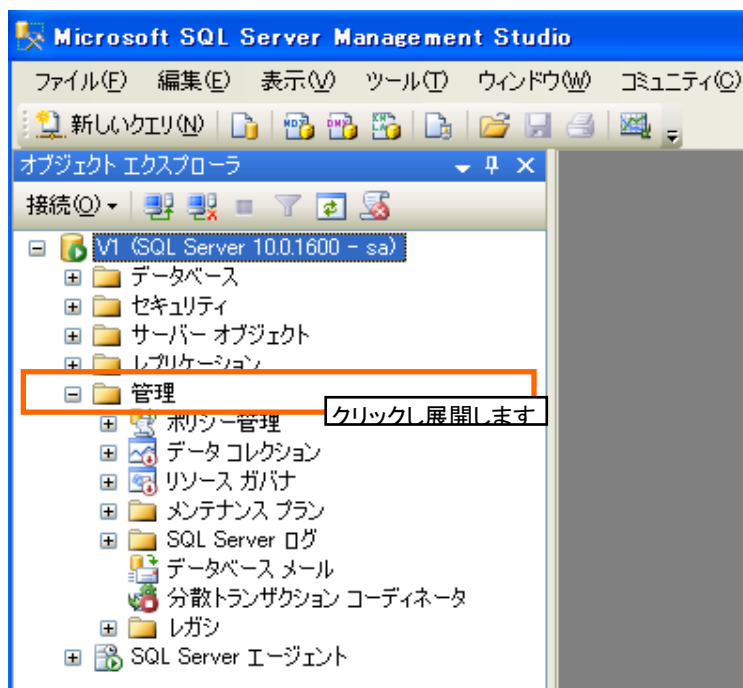
1. この方法では、以下の二つのサービスが必要となります。
 - ・ SQL Server Agent
 - ・ SQL Server 2008 Integration Service Manager （以降、SSIS）
2. [SQL Server Configuration Manager]を開き、
上記のサービスが開始されていることを確認します。
[SQL Server Configuration Manager]は以下の方法にて開きます。
 - ・ Windows[スタート]メニューー[すべてのプログラム]
ー[Microsoft SQL Server 2008]ー[構成ツール]ー[SQL Server 構成マネージャ]



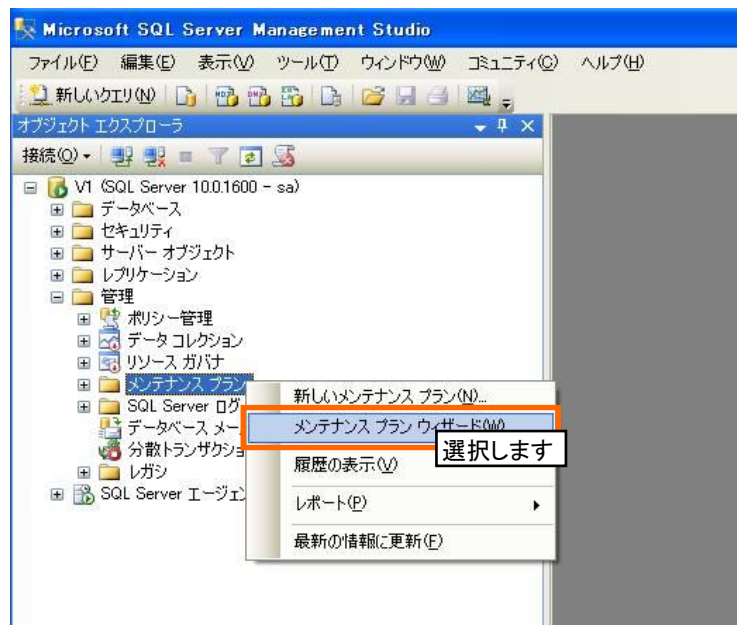
※ [SSIS]のサービスが表示されない場合はインストールされていない可能性があります。
SQL Server 2008のメディアまたは[SQL Server インストールセンター]より
[SSIS]の追加インストールを実施し、サービスを開始します。
[SSIS]の追加インストールの詳細につきましては、
本書7ページの『[参考:SSISをインストールする方法](#)』をご覧ください。

【メンテナンス プランを作成する】

1. [SQL Server Management Studio]から[管理]を開きます。



2. [メンテナンス プラン]を右クリックし、[メンテナンス プラン ウィザード]を選択します。



3. [SQL Server メンテナンス プラン ウィザード]ダイアログで[次へ]をクリックします。



4. [プランのプロパティを選択]にて以下の情報を設定します。

- ・ 名称
- ・ スケジュール

メンテナンス プラン ウィザード

プランのプロパティを選択
メンテナンス タスクのスケジュールを設定する方法を指定します。

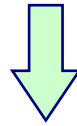
名前(M): 日次バックアップ Jobの名称を入力します

説明(D):

☐ タスクごとに個別のスケジュールを使用する
☒ プラン全体で単一のスケジュールを使用するか、スケジュールを使用しない? プラン全体を選択します

スケジュール: 不定期 (要求時) 変更(C)... スケジュールを指定します

ヘルプ(H) < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F) >> キャンセル



ジョブ スケジュールのプロパティ - 日次バックアップ

名前(N): 日次バックアップ スケジュール済みのジョブ(J)

スケジュールの種類(S): 定期的 有効(E)

指定日時に発生
日付(D): 2010/07/01 時刻(T): 20:39:58

頻度
実行(C): 毎日 実行間隔を指定します
間隔(I): 1 日

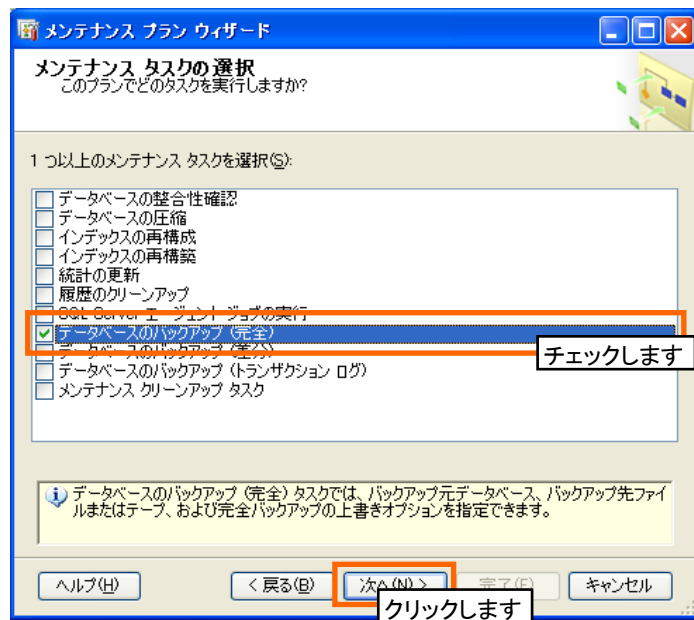
一日のうちの頻度
☒ 1 回(A): 4:00:00 実行時刻を指定します
☐ 間隔(I): 1 日 開始時刻(T): 0:00:00 終了時刻(T): 23:59:59

実行時間
開始日(D): 2010/07/01 終了日(E): 2010/07/01
☒ 終了日なし(Q):

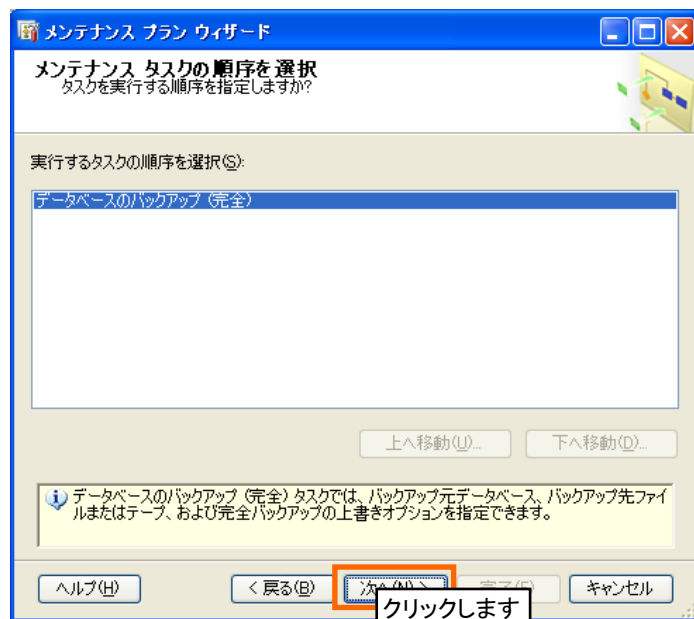
概要
説明(P): 毎日 4:00:00 に実行. スケジュールは、2010/07/01 に開始します

OK キャンセル ヘルプ

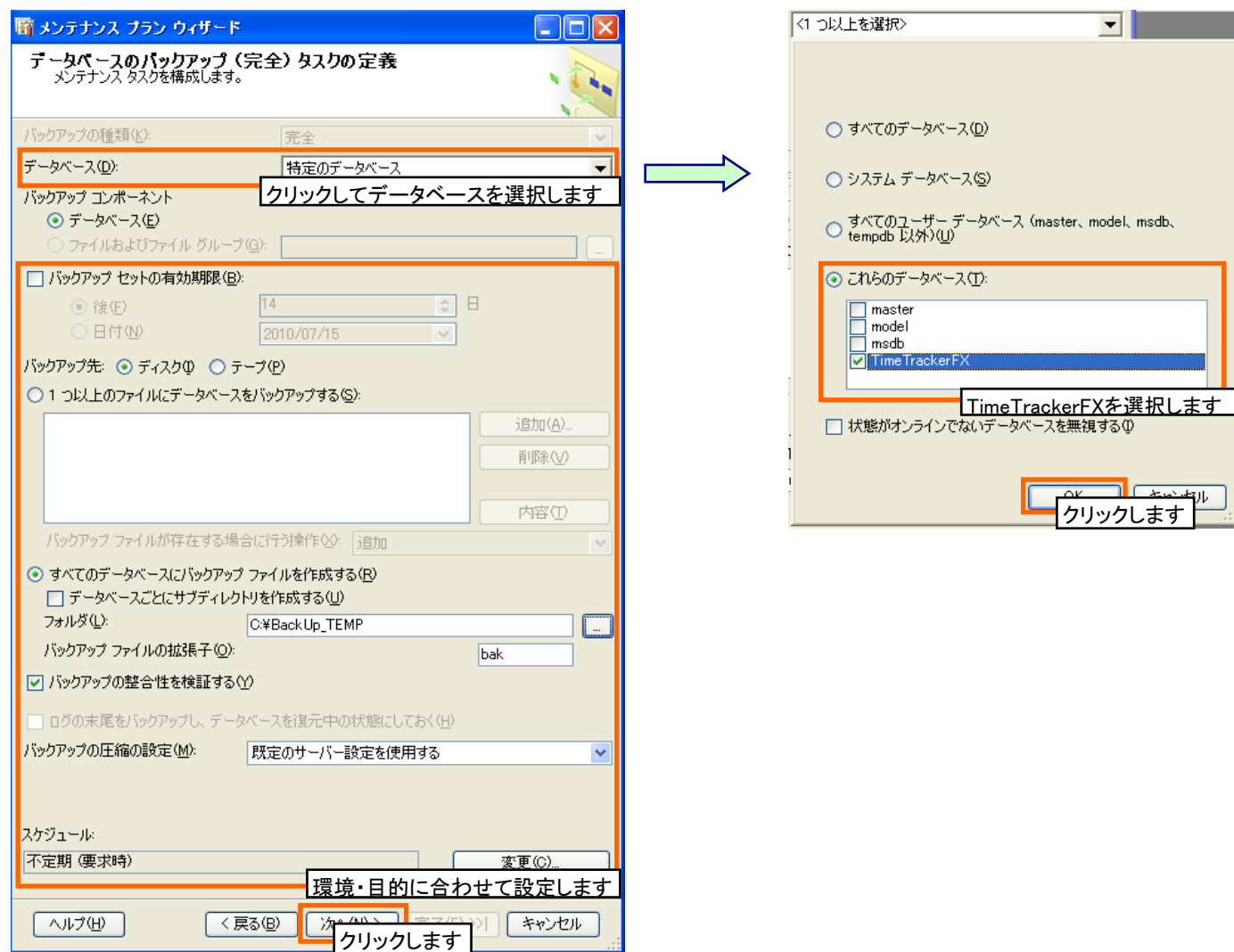
5. [メンテナンス タスクの選択]で[データベースのバックアップ(完全)]を選択し、[次へ]をクリックします。



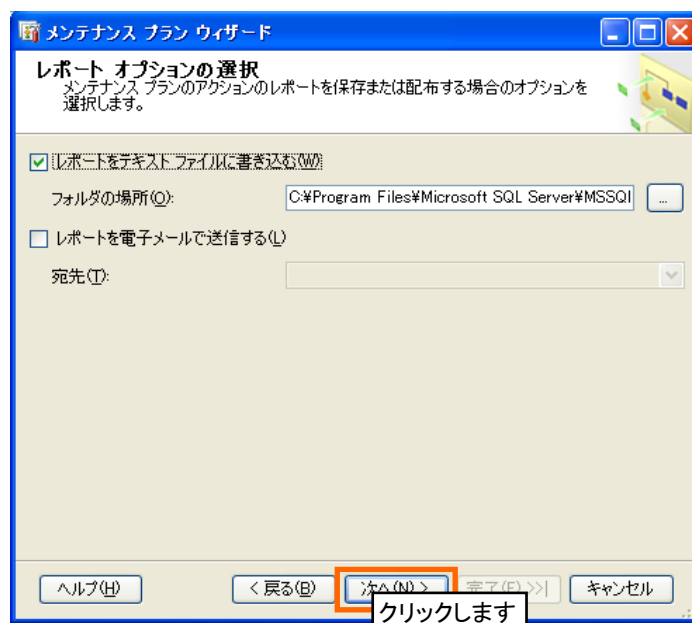
6. [メンテナンス タスクの順序を選択]が表示されるので、そのまま[次へ]をクリックします。



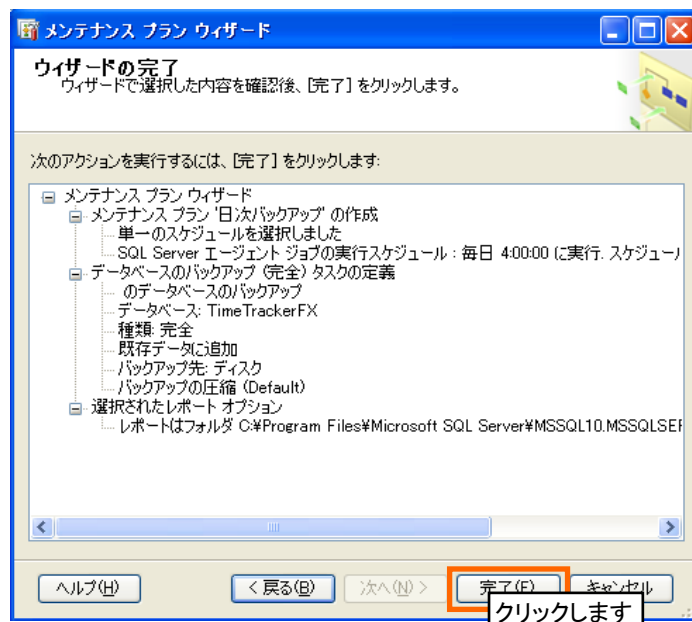
7. [データベースのバックアップ(完全)タスクの定義]にて、対象となるデータベースなどを指定し[次へ]ボタンをクリックします



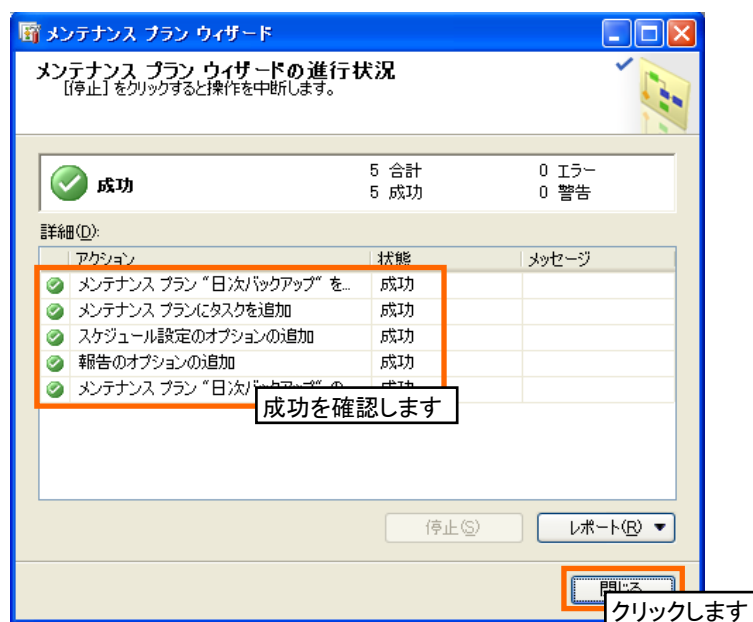
8. [レポート オプションの選択]で、[次へ]をクリックします。



9. [ウィザードの完了]で、設定した情報に誤りがないことを確認し、[完了]をクリックします。



10. [メンテナンス プラン ウィザードの進行状況]がすべて成功したことを確認し、[閉じる]をクリックします。



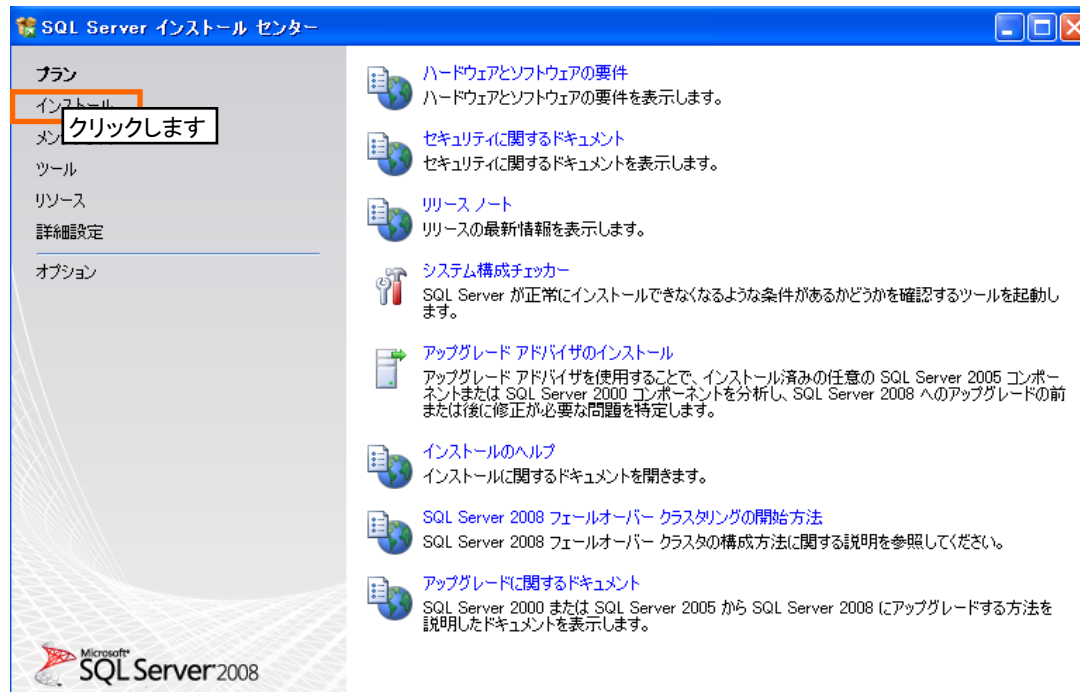
※ 上書きの設定を行わない場合は、バックアップファイルが増え続けます。

■参考:SSISをインストールする方法

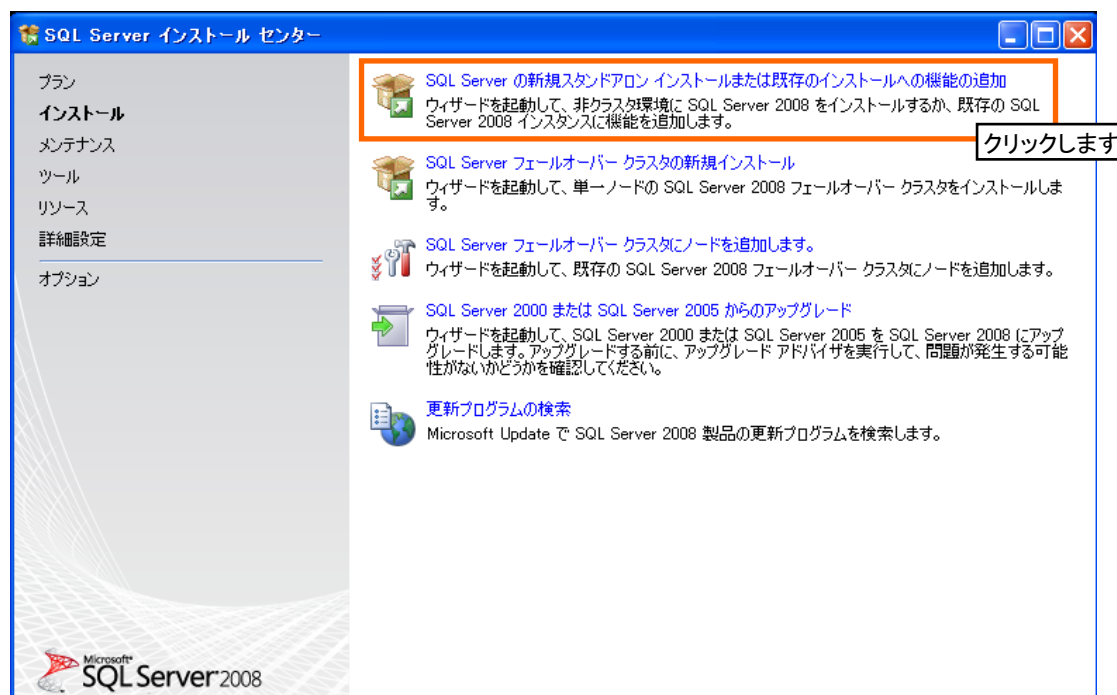
SQL Server 2008 Integration Service Manager(以下SSIS)のインストール方法についてご紹介します。

【SSISのインストール】

1. SQL Server 2008のメディアよりインストーラを起動し、画面左側のメニューより[インストール]をクリックします。

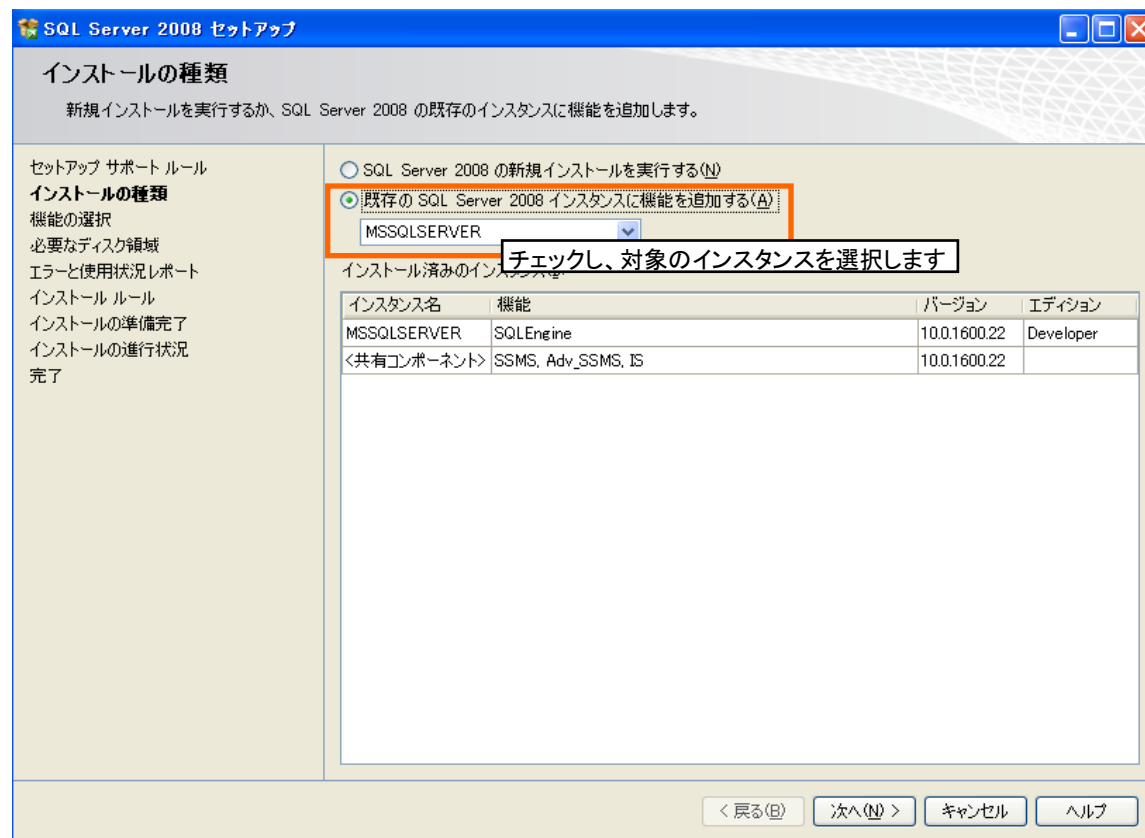


2. 画面右側のメニューより [SQL Serverの新規スタンドアロン インストールまたは既存のインストールへの機能の追加]をクリックします。

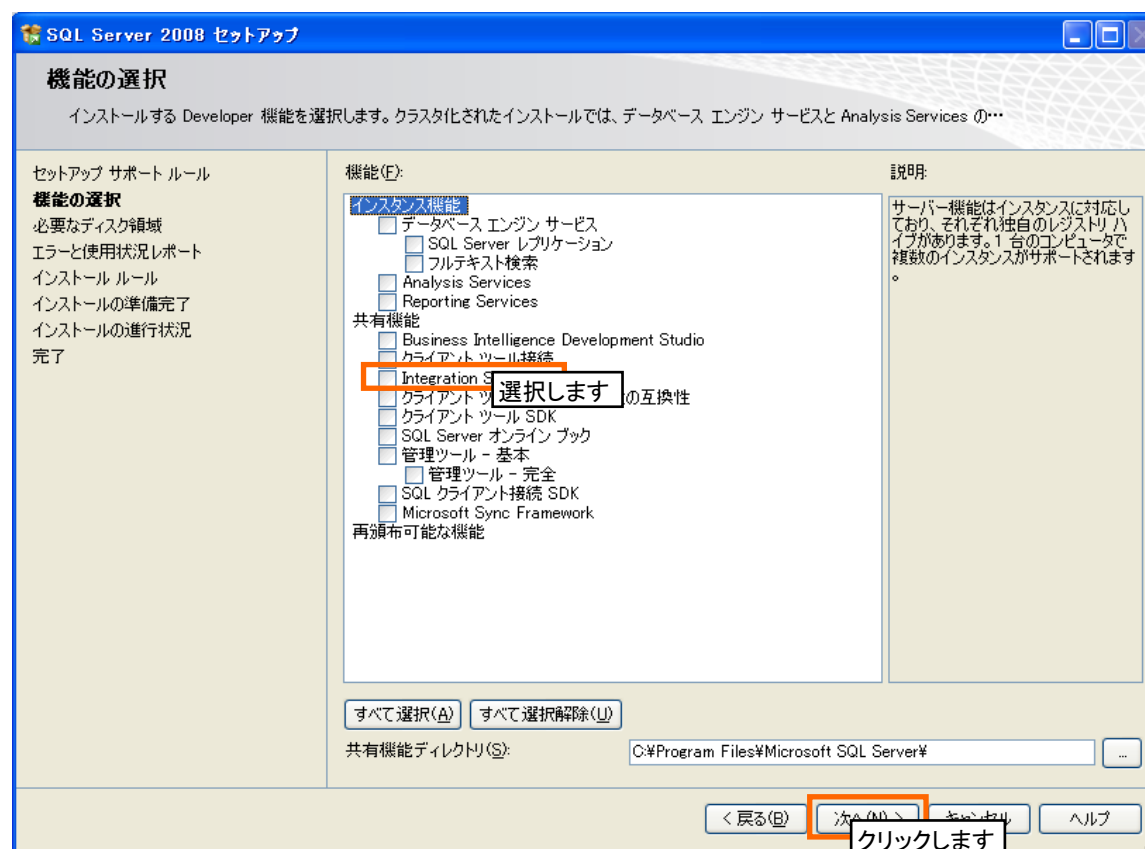


3. インストールウィザードに従い、以下の情報を確認し、インストールを進めていきます。
 - ・セットアップ サポート ルール
 - ・セットアップ サポート ファイル

4. [インストールの種類]にて[既存のSQL Server 2008 インスタンスに機能を追加する]を選択し、[次へ]をクリックします。

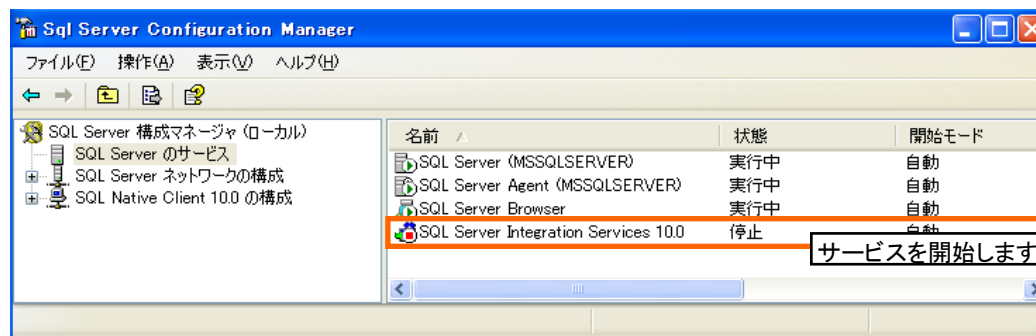


5. [機能の選択]にて[Integration Service]にチェックし、[次へ]をクリックします。



6. インストールウィザードに従い、インストールを継続してください。

7. インストールが終了したら、[SQL Server Configuration Manager]を起動し、SSISのサービスを手動で開始します。



8. [SQL Server Management Studio]を起動し、[メンテナンスプラン]から定期バックアップを設定します。
詳細は、「メンテナンスプランを使ったバックアップ方法.pdf」をご確認ください。

以上